

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援つぼみ		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 19日		令和8年 4月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 19日		令和8年 4月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・自己肯定感の向上。(支援について)	・日々の活動を通じて、出来たことへの喜びや嬉しかったと思う経験を増やしていくことを意識的に行っています。お友達や支援員から称賛を受ける機会を設け、自信に繋がるよう支援しています。	・個々の成長に応じ、スモールステップから始め、小さなことでも称賛を受けながら自信を持ち、自己肯定感の向上へと繋げています。
2	・他者とのコミュニケーション(支援について)	・お友達や支援員と一緒にコミュニケーションを図る機会を設けています。個別・集団活動を通じて、楽しみながら他者と関わる場面に参加していきます。	・他者とのコミュニケーション時に苦手な様子が窺えた際は支援員が介入し、好ましい関わり方やお手本を示しながらコミュニケーション方法を学んでいきます。
3	・昼食の選択制、容器の洗浄。	・昼食は、お弁当の持参・宅配お弁当から選択が出来ます。毎月の注文票に記載することで日によっても変更(時間規定あり)が可能です。容器については洗浄後にご返却となります。食事摂取量については、ラインで発信しています。	・宅配お弁当のメニューの提示が遅くなってしまうことがあるため、関係機関と調整を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご相談がしやすい環境について。	・ラインを活用し、ご相談がしやすい環境を整えている。しかし、送迎対応などで連絡が遅くなってしまうことがあるため、今後の課題である。	・現在はラインで連絡を行っているが、より迅速に対応が出来るツール(新しいシステムの活用など)も検討していく必要がある。
3	・当事業所の認知について	・各関係機関などに活動内容をより発信していく必要がある。	・ホームページを通じて、イベントや活動内容を発信する。各関係機関への訪問等。